

協会からのご案内

- 1 協会だより
- 2 当協会発行・編集出版物
- 3 当協会の国際連携のご紹介

1 協会だより

1. お知らせ：第84回運営委員会／第527回理事会
2. トピックス：ディスクロージャー優良企業選定要領の決定／CIIA（国際公認投資アナリスト）2025年3月試験の実施／大阪シンポジウムの開催／SAAJサロンの開催／IASB理事と企業会計研究会委員の意見交換会開催／講演会の動画／講演要旨
3. 委員・会員の異動

1. お知らせ

▶第84回運営委員会を開催しました

3月3日（月）に第84回運営委員会が開催されました。2025年度事業計画書、中期ビジョン（2025～2027年度）について意見交換が行われました。

▶第527回理事会を開催しました

3月18日（火）に第527回理事会が開催され、以下の事項について決議、審議及び報告が行われました。

【決議事項】

2025年度事業計画書、2025年度収支予算、資金調達及び設備投資の見込みの件

【審議事項】

次期中期ビジョン（2025～2027年度）

【報告事項】

1. 資金運用諮問会議答申（2025年1月30日付）の骨子
2. CFA協会との連携について

（参考）公益法人制度改革への対応

決議事項では2025年度事業計画書等を原案通り行政庁（内閣府）へ提出すること及び第53回定時総会に報告することが承認されました。

会員向けには、詳細を当協会ホームページ＞マイページ＞会員限定＞理事会・総会議案でお知らせしています。

2. トピックス

▶ディスクロージャー優良企業選定要領を決定しました

当協会ディスクロージャー研究会（座長 許斐潤氏）は、2025年度の「証券アナリストによるディスクロージャー優良企業選定（第31回）」について、次の要領で実施することとしました。2025年度の評価については、人的資本や知財・無形資産に関連する情報、資本コストや株価を意識した経営の取組み、社外取締役と投資家との対話機会の設定など、中長期的な企業価値の向上につながる情報開示をより高く評価する観点から評価項目および配点を見直しました。

2025年度の評価対象業種は、17業種（対象企業297社。機械は休止）となります。

また、2005年度から評価対象としている、新興市場銘柄および個人投資家向け情報提供における優良企業選定も継続して実施することとしています。

同研究会では、今回も各対象業種等に精通した証券アナリストの方々の積極的なご協力を期待しています（2024年度のスコアシート記入アナリスト延べ545名）。

○ディスクロージャー優良企業選定

業種	対象企業数	評価項目数	業種	対象企業数	評価項目数
建設・住宅・不動産	18	11	運輸	18	15
食品	23	12	通信・インターネット	17	15
化学・繊維	20	15	商社	7	10
トイレットリー・化粧品	8	16	小売業	23	16
医薬品	22	11	銀行	14	18
鉄鋼・非鉄金属	15	13	保険・証券・その他金融	9	17
電気・精密機器	25	14	ITサービス・ソフトウェア	11	11
自動車・同部品・タイヤ	22	10	広告・メディア・エンタテインメント	24	11
エネルギー	21	12	新興市場銘柄	30	13

○個人投資家向け情報提供における優良企業選定については、上記の業種別等18部門のそれぞれの評価結果上位1割の企業のうち、2024年7月から2025年6月までの1年間に、「個人投資家向け会社説明会」を開催した企業を「評価対象企業」（2024年度は31社）として、評価を実施します。

○評価・選定作業の実施日程

- ・各専門部会による対象企業・評価項目等の見直し・・・・・・・・・・ 12月中旬～1月下旬
- ・評価対象企業宛て評価項目および配点一覧等の送付・・・・・・・・・・ 3月上旬
- ・スコアシート記入アナリストの資格照会調査・・・・・・・・・・ 4月上旬～4月末頃まで
- ・記入アナリストへのスコアシートの発送・・・・・・・・・・ 5月下旬
- ・スコアシートの回収・・・・・・・・・・ 7月上旬まで

- ・スコアシートの集計・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7月中旬～8月上旬
- ・各専門部会による選定結果の取りまとめ・・・・・・・・ 8月中旬～9月下旬
- ・ディスクロージャー研究会における最終決定・・・・・・・・ 9月下旬
- ・ディスクロージャー優良企業選定結果公表・・・・・・・・ 10月上旬
- ・アナリスト大会における表彰企業の紹介・・・・・・・・ 10月中旬
- ・評価・選定結果の各企業へのフィードバック・・・・・・・・ 10月中旬～12月末

▶CIIA（国際公認投資アナリスト）2025年3月試験を実施しました

CMA（日本証券アナリスト協会認定アナリスト）を対象としたCIIA試験を、3月7日（フランクフルト会場）と3月8日（東京、大阪の2会場）に実施し、延べ127名が受験しました。合格発表は5月末頃の予定です。

▶大阪シンポジウムを開催しました

- ・開催日、場所：2025年2月12日（水）、ホテルグランヴィア大阪
- ・テーマ：関西経済の現状と2025年の展望
- ・パネリスト：神山一成氏（日本銀行理事 大阪支店長）
関楨一郎氏（財務省 近畿財務局長）
信谷和重氏（経済産業省 近畿経済産業局長）
- ・モデレーター：藤山光雄氏（株式会社日本総合研究所 調査部 関西経済研究センター所長）
- ・参加者：77名

大阪・関西万博の開幕を目前に控える関西経済の現状と先行きについて活発な議論が展開されました。シンポジウム後の懇親会では、当協会会員をはじめ多くの方々が親交を深めました。



▶SAAJサロンを開催しました（2月21日）

好評のSAAJサロン、2024年度第4弾「2025年の内外経済相場見通し」を2月21日に開催しました（参加者21名）。

講師の大和証券株式会社 チーフテクニカルアナリスト 兼 テーマリサーチ担当ストラテジスト 木野内栄治氏CMAから、地政学、為替、米国の関税政策、日本銀行の政策スタンスから原油・金といったコモディティに至るまで、幅広い視点から今後の内外経済市場の見通しについてお話をいただきました。講演後の質疑が絶えず、会員間や講師を交えたフリートーキングも活発に交わされました。

講演部分はオンデマンド配信でご視聴いただけます。



▶IASB理事と企業会計研究会委員の意見交換会を開催しました

2025年2月13日に、国際会計基準審議会（IASB）のZach Gast理事、鈴木理加理事と財務諸表利用者である企業会計研究会の委員5名が、「つながり（Connectivity）と経営者による説明」「無形資産」をテーマに意見交換会を開催しました。

それぞれのテーマについて、企業会計研究会の委員から次のような意見が述べられ、それに基づく双方の有意義な意見交換が行われました。

1. つながり（Connectivity）と経営者による説明

IASBは、国際サステナビリティ基準審議会（ISSB）と協働し、IASBとISSB間のつながり、両審議会それぞれの基準間のつながり、両基準を適用する企業の報告におけるつながりに取り組んでいます。そして、IASBは、ISSBと協働し、財務諸表を補完する実務記述書「経営者による説明」の修正を2025年上半年に予定しています。

このテーマについて、企業会計研究会の委員から次のような意見が述べられました。

- ・報告企業に関する財務諸表とサステナビリティ関連財務開示の補完的な視点は、利用者が企業を分析・評価するに当たりそれぞれが有用な情報を提供するので、IASBとISSBの協働を強く支持する。
- ・財務諸表とサステナビリティ関連財務開示のマテリアリティ、仮定などの一貫性、整合性が重要である。日本ではサステナビリティ関連財務情報の法定開示や保証の議論が進んでいるが、そこでも財務諸表とのつながりを意識することが必要である。
- ・「経営者による説明」の公開草案（2021年）において、当協会の意見書ではIASBとISSBの連携を主張した。プロジェクトはその方向で進んでおり、最終化された実務記述書に期待している。

2. 無形資産

無形資産は、2024年に開始されたIASBの研究・プロジェクトです。

このテーマについて、企業会計研究会の委員から次のような意見が述べられました。

- ・無形資産の諸課題を一括で解決しようとするのが長期要することが想定されるので、暗号資産など喫緊性の高い分野から段階的に見直すアプローチを支持する。
- ・基準開発を進めるに当たり、無形資産の減損損失の認識と測定、人的資本の研究・プロジェクトを進めるISSBとの連携などが重要である。また、一義的には無形資産の表示について議論することが重要であるが、利用者に有用な情報を提供する開示の拡充について議論を進めることも必要な場合がある。
- ・self-generated intangiblesのようなものについては、原則として、無形資産の範囲に含めるべきではないが、企業価値に与える影響の重要性を考えると悩ましい場合もある。



▶ 講演会の動画を協会ウェブサイトに掲載しました

①<SAAJサロン>

「2025年の内外経済相場見通し」（2月21日開催）

講師：木野内栄治氏 CMA（大和証券 チーフテクニカルアナリスト 兼 テーマリサーチ担当ストラテジスト）

②<産業研究会企画 コーポレートガバナンスシリーズ第2回>

「コーポレートガバナンスとサステナビリティ開示 ー国際監査・保証基準、国際倫理規程の動向を素材として」（3月5日開催）

講師：古澤知之氏（公益監視委員会（PIOB）メンバー）

- ◆ 検定会員、個人賛助会員、一般会員、法人・法人賛助会員の役職員の方およびPB資格保有者は、以下より視聴できます。非会員の方も有料で視聴できます。

「動画」はこちらから ▶



▶講演要旨を協会ウェブサイトに掲載しました

①大阪シンポジウム「関西経済の現状と2025年の展望」（2月12日開催）

パネリスト：神山一成氏（日本銀行理事 大阪支店長）

関禎一郎氏（財務省 近畿財務局長）

信谷和重氏（経済産業省 近畿経済産業局長）

モデレーター：藤山光雄氏（日本総合研究所 調査部 関西経済研究センター所長）

②<SAAJサロン>

「2025年の内外経済相場見通し」（2月21日開催）

講師：木野内栄治氏 CMA（大和証券 チーフテクニカルアナリスト 兼 テーマリサーチ担当ストラテジスト）

◆検定会員、個人賛助会員、一般会員、法人・法人賛助会員の役職員の方は、以下より無料で閲覧・ダウンロードできます。非会員の方も有料で閲覧・ダウンロードできます。

「要旨」はこちらから▶



3. 委員・会員の異動（敬称略）

▶委員の異動

○試験委員会（2月28日）

退任 宗岡 徹 関西大学 CMA

○ディスクロージャー研究会

・専門部会（2月13日）

（医薬品）

退任 兵庫 真一郎 三菱UFJ信託銀行 CMA

就任 松原 弘幸 野村證券

（商社）

退任 堀内 敏成 元QUICK CMA

▶会員の異動

○新入会者（2025年2月中、五十音順、勤務先は同意のあった方のみ掲載）

検定会員

浅井 亮成		時永 貴子	
浅野 秀樹		仁部 有史	三井住友信託銀行株式会社
芦田 恒志		野澤 勇貴	大和インベスター・リレーションズ
五十嵐 佐千子	京都中央信用金庫	原 裕貴	平田機工株式会社
内田 和人	エムエステイ保険サービス株式会社	福原 啓之	みずほ証券株式会社
枝 和成		藤井 春登	ラッセル・インベストメント株式会社
大久保 燎		松浦 利仁	
大田 周平	株式会社山口銀行	宮坂 一輝	株式会社 SBI 新生銀行
小川 輝彦	三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券株式会社	安江 高広	三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券株式会社
近藤 秀史	ゴードリアン・キャピタル・ジャパン株式会社	山田 高輝	日本生命保険相互会社
		山田 義一	

個人賛助会員

小野 雅弘

○退会・会員資格喪失（2025年2月中、五十音順、同姓同名の場合は会員番号も記載）

1. 定款第12条第1項第1号による退会・会員資格喪失

<会費完納者>

検定会員	荒木 圭介	大石 敬昌	富岡 博和	藤井 真理子
	安藤 宏	奥田 啓介	中島 純也	藤本 尚
	五十嵐 一葉	神垣 勝年	中島 久	船坂 慶隆
	石川 晴貴	児玉 志朗	中村 彰良	松岡 正憲
	磯 陽太郎	齋藤 達弘	西下 芳樹	松永 哲也 24704
	岩吉 直樹	坂井 史明	西村 直哉	丸山 新
	内生蔵 淳	品田 光一	東滝 卓也	横浜 健
	内堀 幹太	鈴木 真博	平田 浩介	吉本 則之
	円城寺 征人	高橋 良通	深田 幸生	和手 義行

一般会員 山田 正次

法人賛助会員 ローム株式会社

○会員状況（2025年2月28日現在）

個人会員	（検定会員）	（一般会員）	法人会員	賛助会員	（法人賛助会員）	（個人賛助会員）	合計
29,546	(29,486)	(60)	193	138	(113)	(25)	29,877